

観月会2023

山本 基 展 まと 時を纏う

美術思想家・岡倉天心(覚三)は、1905年に現在の北茨城市五浦に六角堂を構えました。五浦の地を拠点に国際的に活躍し、翌年には主著である『The Book of Tea(茶の本)』をニューヨークで刊行しました。また、日本美術院を五浦へ移し、各界の名士を招待した「仲秋観月会」を開催するなど、日本美術の振興に寄与しました。このことを偲び、茨城大学五浦美術文化研究所では「観月会」の名を冠した催しを開いています。

今年度の「観月会 2023」では、広島市出身(金沢市在住)の現代美術作家・山本基氏による展覧会を開催いたします。山本氏は、浄化や清めを喚起させる「塩」を用いたインスタレーション作品を展開しており、国内のみならず、国際的に目覚ましい活躍をされています。太平洋に面した五浦海岸に立地する天心遺跡(六角堂)を会場とすることで、人々に寄り添い、深い感銘を与える山本氏の作品を訴求したいと存じます。

展覧会の終了後には、本学学生を対象とした『海に還るプロジェクト』(非公開)の開催を予定しております。参加者の手により作品を解体し、素材である塩を海へ還す取り組みです。塩はやがて海をめぐり、様々な「命」へと還ります。作品としての形は消えてしましますが、素材としての塩が果てしない繋がりを想起させてくれることでしょう。命の儚さや繋がりが内在した作品をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

主催者

【作品名】

迷宮 (Labyrinth)

40×40 cm(each)

アクリル絵の具、キャンバス 【作品の一部】

〈茨城県天心記念五浦美術館 企画展のご案内〉

「間島秀徳展 天地無常

The Kinesis Always Reveals New Panoramas —そこに新たな風景が

2023年9月13日(水)~11月26日(日)

「天心が託した国宝の未来—新納忠之介、仏像修理への道」

2023年12月9日(土)~2024年2月12日(月・振)

TEL.0293-46-5311



(photo by Toshiyo Suzuki)

【作家情報】

山本 基/Motoi Yamamoto

1966年 広島県尾道市生まれ

1995年 金沢美術工芸大学 絵画専攻卒業

ニューヨーク近代美術館 MoMA P.S.1をはじめ、

エルミタージュ美術館、東京都現代美術館、

箱根・彫刻の森美術館、金沢 21世紀美術館、瀬

戸内国際芸術祭等、国内外で多数発表

【作家(山本 基)HP】



<https://www.motoi-works.com/>

【茨城大学五浦美術文化研究所 HP】



<https://rokkakudo.izura.ibaraki.ac.jp/>



【交通のご案内】

●JRご利用の場合
JR 常磐線で大津港駅下車。
市巡回バス五浦線(火・木・金曜日のみ運行)にて六角堂入口下車。
タクシーにて約10分。徒歩約45分。

●お車ご利用の場合
常磐自動車道北茨城1Cより国道6号線を大津港方面へ約15分。